

## 平成23年度 新庄市社会福祉協議会事業計画

### 【基本方針】

平成22年度は、長引く経済不況のなか、地域社会や家族とのつながりの希薄化に伴い、孤立、行方不明高齢者問題や孤独死などが無縁社会という形で取り上げられ、地域の福祉課題が大きくクローズアップされた年でありました。そして、貧困、高齢者や子どもに対する虐待、自殺、ひきこもり等の問題は、引き続き歯止めがかからない状況であります。また、従来からの課題である少子高齢化とともに、人口減少がますます加速し、社会のひずみも増大しております。

このような社会情勢のなかで、社会福祉協議会の果たすべき役割はますます大きくなってきております。本年は、社会福祉協議会（社協）が社会福祉事業法（現在、社会福祉法）に位置づけられてから60周年にあたります。社会福祉法では、社協の目的を「地域福祉の推進を目的とする団体」としております。今まさに社協は、基本に立ち返り、多様な地域のニーズに応えるために、社会福祉法に規定された公共性・公益性の高い民間の団体として、地域住民の参加を促し、社会福祉事業、その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化を図り、住民主体による地域福祉の実現を目指す必要があります。そのために以下の基本方針のもとに地域福祉の推進に努めます。

まずはじめに、組織経営基盤の確立のため各事業所の介護保険等サービスの質的向上を図りながら積極的な公益事業の展開を進め、財政基盤の強化を図ってまいります。また、固定されがちな人事について可能な限り異動を行い、組織の活性化を図るとともに、引き続き行政との人事交流を実施し、職員の資質と職務遂行能力の向上に努めます。

次に、役職員が一丸となって「顔の見える社協」を目指し、社協活動について広報・啓発に努めながら、あらゆる機会をとらえ地域における福祉課題などを知らせることにより、地域の課題・問題を共有し、地域で解決できるよう地域の福祉力の向上を図るための福祉教育の推進に努めます。

また、ボランティアセンターの機能を充実し、市民活動やボランティア活動（社会貢献活動）の活性化を図り、その活動の支援強化のための環境整備を行ってまいります。

最後に、多種多様な相談ニーズに応えるため、事務局と地域包括支援センターとが連携し、生活困窮者や高齢者等の悩みを適正な支援に結びつけるための体制整備を図ります。

本年度は、以上の基本方針に基づき、新庄市をはじめ、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員、協力員（区長）、福祉関係団体及びボランティア等との連携・協働を図りながら、事業を進めてまいります。

## 【重点目標】

### 【1】福祉教育の充実

福祉教育は、「児童の健全育成を図る」など学校教育の場を活用した子ども向けが中心でありましたが、本来「福祉課題を通じて地域住民としての主体性を育む」という目的があり、そのためには子どもたちの福祉教育のみならず地域住民が福祉課題や社会問題に積極的に関わり、解決に向けた活動を創り出していく「地域における福祉教育」を推進する必要があります。社協は、あらゆる機会や場を活用し、福祉における課題の情報を提供することにより、地域のみみなで課題や問題を共有し、解決できるよう福祉教育の推進を図ります。

### 【2】ボランティアセンター機能の充実

社協では、ボランティア活動を推進するために社協内にボランティアセンターを設置しておりますが、市民の認知度は低い状況にあります。そこでボランティアセンターとしての役割を社協広報誌、インターネット等を利用しながら情報を発信し、ボランティア活動の普及に努めるとともに、ボランティアコーディネート機能の充実を図り、ボランティアをしたい人と受けたい人との連絡調整機能を強化することによって、ボランティア活動の活性化を図ります。なお、このたびの東北関東大震災は各地に甚大な被害をもたらし復興の目途すら立たない状況にあります。このような大地震や台風そして豪雪などの自然災害はいつ起こるかわかりません。社協は、災害の復興期において重要な使命として災害救援ボランティアセンターの運営がございます。昨年新庄市を会場に実施された県との合同総合防災訓練において、社協が運営を担った災害救援ボランティアセンターが、災害時に迅速かつ円滑に機能するために社協としての危機管理体制の整備強化を図るとともに災害ボランティアコーディネーターの育成に努めてまいります。

### 【3】相談支援体制の充実

住民一人ひとりが身近な所で必要な支援を受け、社会とのつながりを持ちながら住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援するため、社協事業である「心配ごと相談事業」と新庄市からの受託事業である新庄市地域包括支援センターの高齢者等の介護や福祉、医療や保健などの「総合相談事業」とが連携することにより、迅速で適正な支援に結びつくような体制整備を図ります。

また、社協には、災害の復興期において重要な役割として災害救援ボランティアセンターの運営がございませう。このたびの東北関東大震災は各地に甚大な被害をもたらし復興の目途すら立たない状況にありますが、このような大地震や台風そして豪雪などの自然災害

なお、このたびの東北関東大震災は各地に甚大な被害をもたらし復興の目途すら立たない状況にありますが、このような大地震や台風そして豪雪などの自然災害はいつ起こるかわかりませぬ。社協は、災害の復興期において重要な役割として災害救援ボランティアセンターの運営がございませう。昨年新庄市を会場に実施された県との合同総合防災訓練において、社協が運営を担った災害救援ボランティアセンターが、災害時に迅速かつ円滑に機能するために社協としての危機管理体制の整備強化を図るとともに災害ボランティアコーディネーターの育成に努めてまいります。

## 個別事業計画

### 【法人運営事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額（前年度）
1. 役員会等運営事業	理事会、評議員会、専門部会、貸付等運営委員会、歳末たすけあい配分委員会の開催	615 (615) 会計：一般
2. 企画・広報・情報事業	①情報誌の発行（6月、11月、3月） ②ホームページ コンテンツの充実、更新頻度等	740 (593) 会計：一般 (共同募金配分金事業)
3. 事務局運営事業	①総務、財務及び人事管理 ②事業経営の総合的な立案 ③関係機関・団体との連絡調整 ④各部門間の連絡調整	40,567 (38,464) 会計：一般

### 【地域福祉活動推進事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額（前年度）
1. 連絡調整育成指導事業	①県内の諸連絡会議等への参加 ②福祉事業推進協力団体等への助成金交付及び各種団体との共催事業の開催	1,064 (1,091) 会計：一般
2. 社会福祉協議会表彰等事業	①社会福祉功労者の表彰 ②国県等への福祉功労表彰の進達 ③長寿者への祝い品贈呈 (88歳、99歳の方)	1,184 (1,228) 会計：一般 (共同募金配分金事業)
3. 生活福祉資金貸付事務事業	低所得者世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金貸付と相談業務	3,680 (181) 会計：一般 (県社協委託事業)
4. 心配ごと相談事業	①一般相談（職員対応） ②弁護士相談 毎月1回第3金曜日の午後	190 (190) 会計：一般 (共同募金配分金事業)
5. 福祉サービス利用援助事業	高齢者、障がい者等への日常生活支援(手続代行、金銭管理等)	6,091 (5,507) 会計：一般

		(県社協委託事業)
6. 福祉バス管理事業	各種福祉団体等の研修事業に貸出する福祉バスの運行管理	896 (896) 会計：一般 (市委託事業)
7. 援護事業	①災害被災者への見舞金支給 ②交通遺児への激励金支給 ③子育てへの支援 ④歳末たすけあい運動の実施	2,210 (2,210) 会計：一般 (共同募金配分金事業)

【児童福祉活動推進事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額(前年度)
1. 放課後児童健全育成事業	①放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定 ②遊びの活動への意欲と態度の形成 ③遊びを通じた自主性、社会性、創造性の育成 ④放課後児童の遊びの活動状況把握と家庭への連絡  日新学童保育所：定員 60名(日新小) 中央学童保育所：定員 60名(新庄小・沼田小) 北辰学童保育所：定員 25名(北辰小・泉田小)	23,336 (22,503) 会計：一般 (市委託事業)
2. 児童デイサービス事業	心身に障がいをもった児童の社会適応を目的とする生活指導	994 (994) 会計：一般
3. 児童遊び場整備事業	①児童遊び場管理者への危険防止の周知 ②遊具等の修繕助成と原材料の提供	501 (501) 会計：一般 (共同募金配分金事業)

【高齢者福祉活動推進事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額(前年度)
1. 高齢者健康対策振興事業	①第20回会長杯ワナゲ大会の開催 ②スポーツ用具の貸出	349 (369) 会計：一般

2. 愛のひと声運動事業	乳酸飲料の配達による高齢者の孤立解消と安否確認	(共同募金配分金事業)
3. 給食サービス事業	毎月2回(第2・4金曜日) 利用者負担1食300円	351 (351) 会計：一般 (共同募金配分金事業)
4. 敬老会支援事業	敬老会開催地区への支援	800 (900) 会計：一般 (市委託事業)
5. 高齢者世帯等除雪支援事業	企業ボランティアとの連携による高齢者世帯の除排雪	96 (96) 会計：一般 (共同募金配分金事業)
6. 介護予防普及啓発事業	健康体操やレクリエーションによる高齢者の心身機能の維持 (会場：新庄市老人福祉センター)	290 (290) 会計：一般 (市委託事業)
7. 地域福祉活動組織育成支援事業	高齢者を地域で支えあう地域福祉活動組織の育成	650 (650) 会計：一般 (市委託事業)

【ボランティア活動推進事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額(前年度)
1. ボランティア活動推進事業	①ボランティアの相談、登録斡旋 ②ボランティア保険の加入促進 ③情報誌、ホームページによるボランティア活動情報の提供	269 (269) 会計：一般 (共同募金配分金事業)

【在宅介護支援事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額(前年度)
1. 介護支援事業	①利用者の確保 ②ケース検討会の定期開催によるケアプランの内容充実 ③関係機関、事業者等との連絡調整	26,104 (26,886) 会計：一般 (介護保険事業)

2. 訪問介護事業所	①利用者の確保	100,059 (96,393)
	②サービス提供体制の整備とサービスの質の向上	会計：一般 (介護保険事業)
3. 障害者自立支援事業 移動支援事業	③訪問介護員の確保と研修体制の充実	7,260 (6,600)
		会計：一般 (自立支援事業)
4. 高齢者生活管理指導支援事業		671 (671)
		会計：一般 (市委託事業)
5. 社会福祉協議会独自事業		780 (780)
		会計：一般

【老人福祉センター事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額（前年度）
1. 老人福祉センター 施設管理事業	①運営委員会の開催 ②施設管理業務 ③用具貸出業務 ④各種事業（教室）の実施 生け花・茶の湯・将棋・なつメロ 水墨画・介護予防体操教室 ⑤第5回老人福祉センターまつりの開催	9,906 (10,121)
		会計：一般
2. 老人福祉センター 施設整備事業	①暖房用ボイラー用バーナー更新修繕	744 (438)
		会計：一般

【新庄市地域包括支援センター事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額（前年度）
1. 地域包括支援センター運営事業	①介護予防事業への取り組みの強化 ②高齢者が安心して生活できる地域づくり ③医療機関と関係機関との連携の強化	28,785 (29,147)
		会計：特別 (市委託事業)

2. 介護予防支援事業	①利用者の確保 ②ケアプランの精査と充実	12,475 (12,475) 会計：特別 (介護保険事業)
3. 地域包括支援センター等機能強化事業	地域包括支援センター等機能強化事業 ①地域包括支援ネットワーク強化推進事業 ②地域包括支援センター等広域連携事業 ③地域に応じた事業	6,161 (0) 会計：特別 (市委託事業)

【貸付事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額（前年度）
1. 新庄市たすけあい金庫事業	①一時的な生活困窮者への貸付（通常5万円限度、特別10万円限度） ②滞納整理の強化	800 (1,000) 会計：一般
2. 新庄市善意銀行	①困窮者の救済（払出2万円以内、貸付3万円以内） ②滞納整理の強化	1,700 (1,900) 会計：一般

【共同募金事業】

単位：千円

事業名	説明	予算額（前年度）
1. 共同募金事業	①共同募金会と福祉団体との連携 ②市民への理解・協力	—